

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月10日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市東区馬出1丁目1番19号

氏 名 株式会社 松 本 組

代表取締役 松 本 優 三

電話番号 092-651-1031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 松 本 組		
事業場の所在地	福岡市東区馬出1丁目1番19号		
事業の種類	建設業 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,410 t	全処理委託量	5,410 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,749 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5,410 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

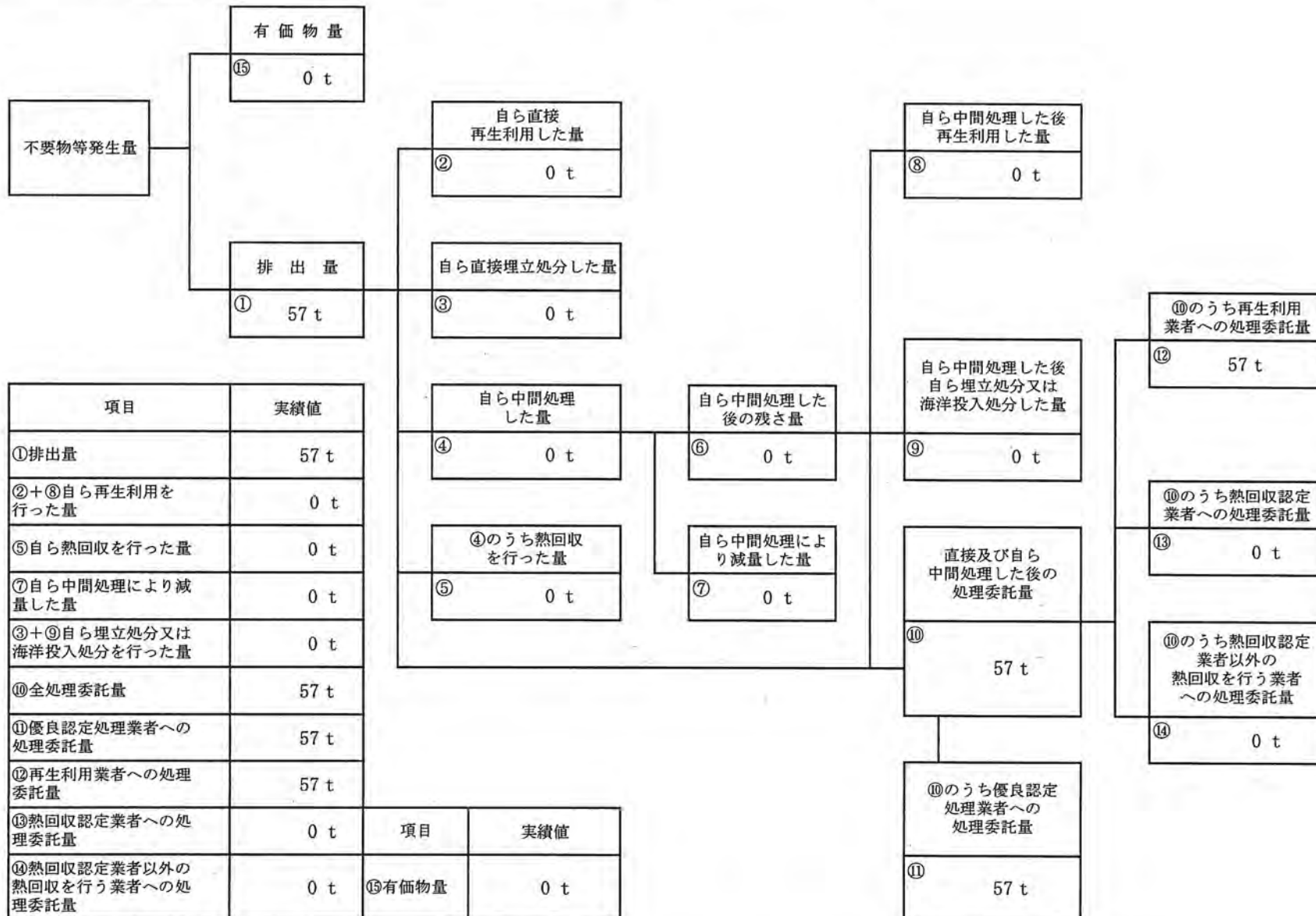
(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 汚泥)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
排出量	自ら直接再生利用した量		
	② 0 t		
① 46 t	自ら直接埋立処分した量		
	③ 0 t		
項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量
	④ 0 t	⑥ 0 t	⑨ 0 t
①排出量	46 t	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量
②+③自ら再生利用を行った量	0 t	⑤ 0 t	⑦ 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	⑩ 46 t	
⑩全処理委託量	46 t		
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15 t	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	46 t		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t		
項目	実績値	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑮有価物量	0 t		
		⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		⑭ 0 t	
		⑪ 15 t	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 紙くず)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
	排出量		
	① 7 t		
		自ら直接再生利用した量	
		② 0 t	
		自ら直接埋立処分した量	
		③ 0 t	
		自ら中間処理した量	
		④ 0 t	
		自ら中間処理した後の残さ量	
		⑥ 0 t	
		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
		⑧ 0 t	
		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		⑫ 7 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
		⑬ 0 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑭ 0 t	
		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
		⑪ 7 t	

項目	実績値	項目	実績値
①排出量	7 t	⑮有価物量	0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t		
⑤自ら熱回収を行った量	0 t		
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t		
⑩全処理委託量	7 t		
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7 t		
⑫再生利用業者への処理委託量	7 t		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t		

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 木くず)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
排出量	① 159 t	自ら直接再生利用した量	② 0 t
		自ら直接埋立処分した量	③ 0 t
項目	実績値	自ら中間処理した量	④ 0 t
	①排出量	159 t	⑥ 0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	④のうち熱回収を行った量	⑤ 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	⑥のうち熱回収を行った量	⑦ 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	自ら中間処理した後の残さ量	⑧ 0 t
⑩全処理委託量	159 t	⑨ 0 t	⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	64 t	⑩のうち埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ 159 t
⑫再生利用業者への処理委託量	159 t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑮ 64 t

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 金属くず)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
	排出量		
	① 11 t		
		自ら直接再生利用した量	
		② 0 t	
		自ら直接埋立処分した量	
		③ 0 t	
		自ら中間処理した量	
		④ 0 t	
		自ら中間処理した後の残さ量	
		⑥ 0 t	
		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
		⑧ 0 t	
		④のうち熱回収を行った量	
		⑤ 0 t	
		自ら中間処理により減量した量	
		⑦ 0 t	
		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	
		⑩ 11 t	
		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		⑫ 11 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
		⑬ 0 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑭ 0 t	
		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
		⑪ 11 t	

項目	実績値	項目	実績値
①排出量	11 t	⑮有価物量	0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t		
⑤自ら熱回収を行った量	0 t		
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t		
⑩全処理委託量	11 t		
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11 t		
⑫再生利用業者への処理委託量	11 t		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t		

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶器器くず)

不要物等発生量

有価物量
⑮ 0 t

排出量
① 6 t

自ら直接再生利用した量
② 0 t

自ら直接埋立処分した量
③ 0 t

自ら中間処理した量
④ 0 t

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0 t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0 t

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0 t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 6 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 6 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 6 t

項目	実績値
①排出量	6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

項目	実績値
⑮有価物量	0 t

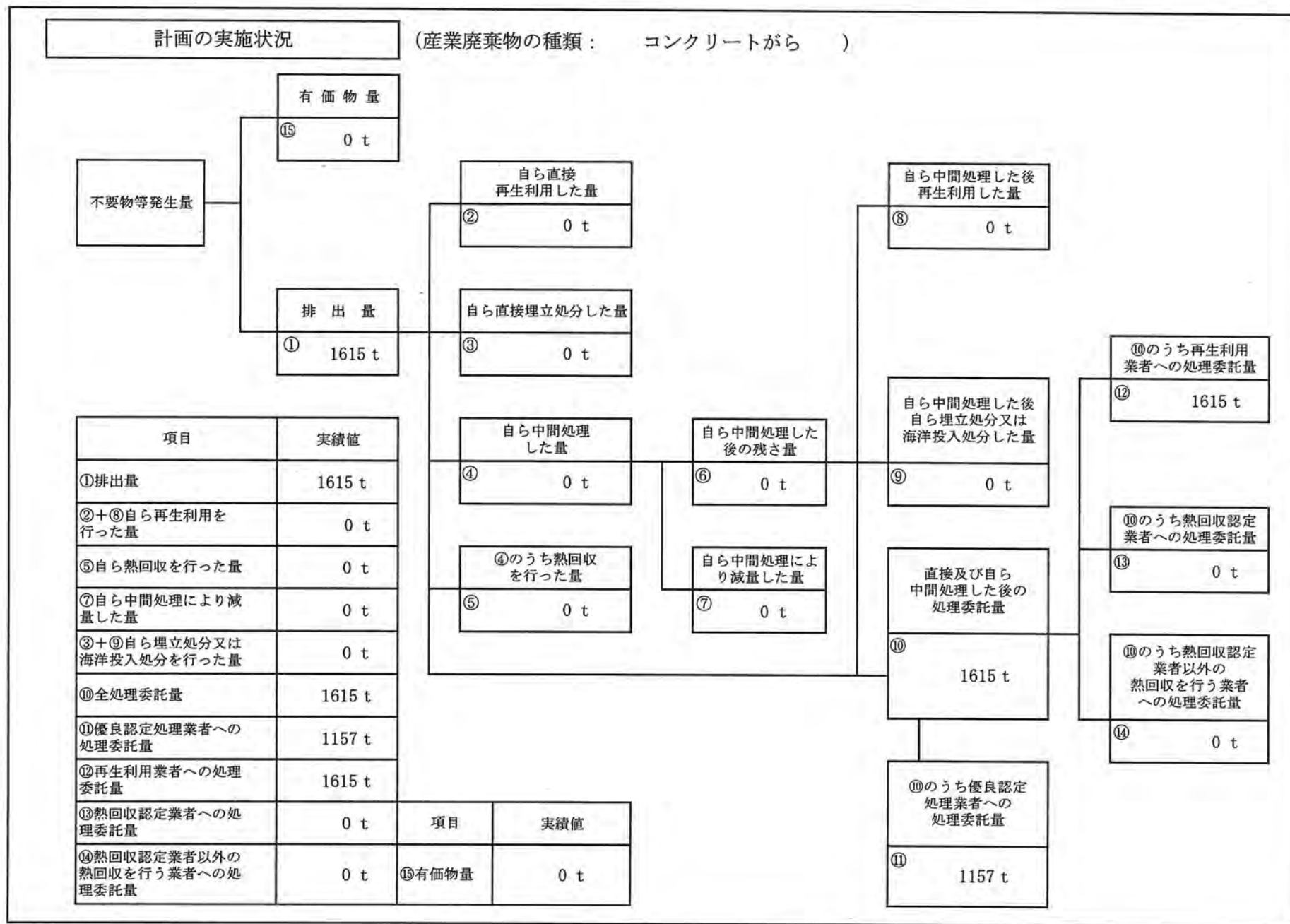
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
	排出量		
	① 15 t		
		自ら直接 再生利用した量	
		② 0 t	
		自ら直接埋立処分した量	
		③ 0 t	
		自ら中間処理 した量	
		④ 0 t	
		④のうち熱回収 を行った量	
		⑤ 0 t	
		自ら中間処理した 後の残さ量	
		⑥ 0 t	
		自ら中間処理により 減量した量	
		⑦ 0 t	
		自ら中間処理した後 再生利用した量	
		⑧ 0 t	
		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
		⑨ 0 t	
		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		⑫ 15 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
		⑬ 0 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑭ 0 t	
		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
		⑪ 2 t	

項目	実績値		
①排出量	15 t		
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t		
⑤自ら熱回収を行った量	0 t		
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t		
⑩全処理委託量	15 t		
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2 t		
⑫再生利用業者への処理委託量	15 t		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t		

項目	実績値
⑮有価物量	0 t

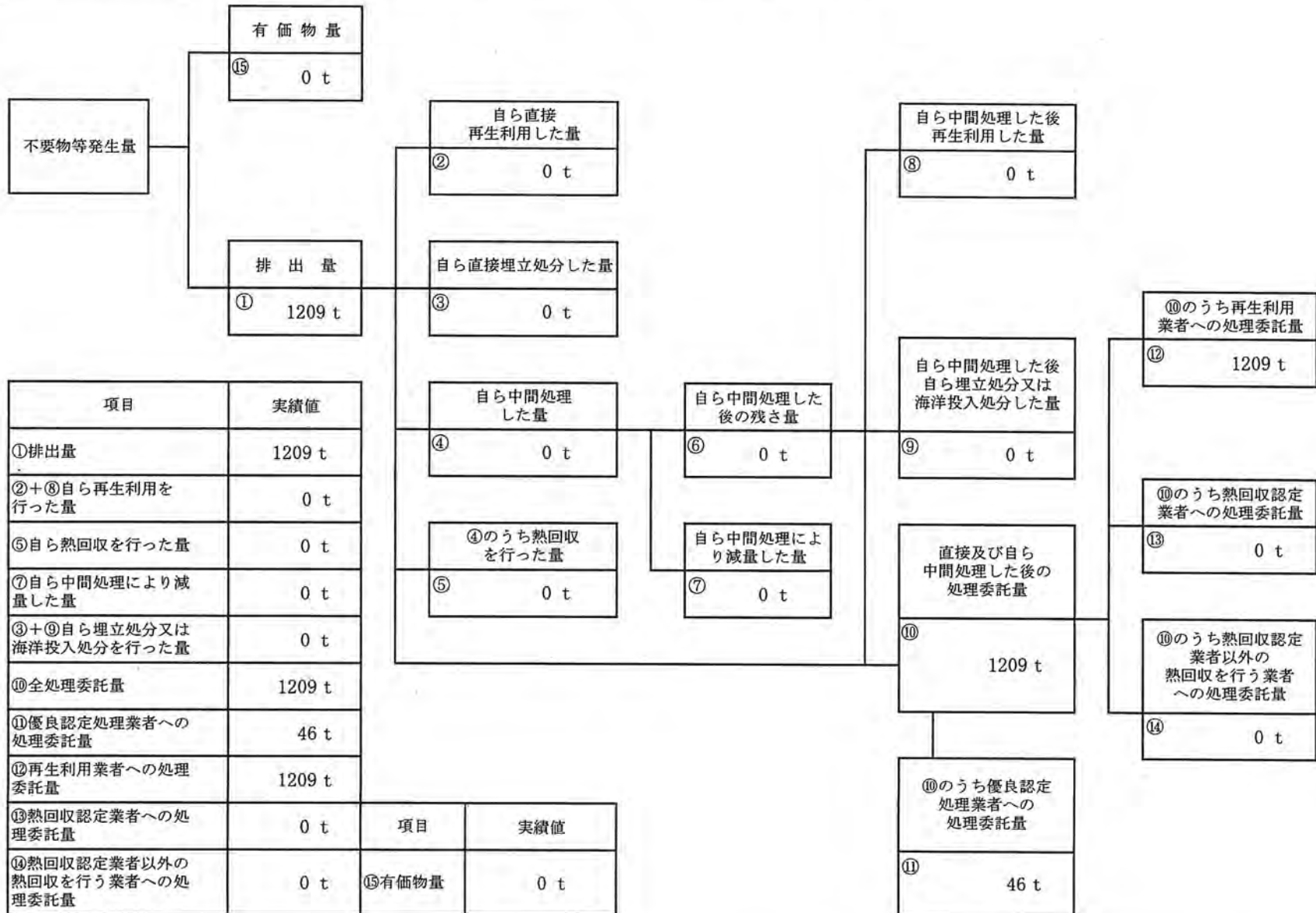
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: がれき類)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
	排出量		
	① 144 t		
		自ら直接 再生利用した量	
		② 0 t	
		自ら直接埋立処分した量	
		③ 0 t	
		自ら中間処理 した量	
		④ 0 t	
		自ら中間処理した 後の残さ量	
		⑥ 0 t	
		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
		⑨ 0 t	
		④のうち熱回収 を行った量	
		⑤ 0 t	
		自ら中間処理によ り減量した量	
		⑦ 0 t	
		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	
		⑩ 144 t	
		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
		⑫ 144 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
		⑬ 0 t	
		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑭ 0 t	
		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
		⑪ 144 t	

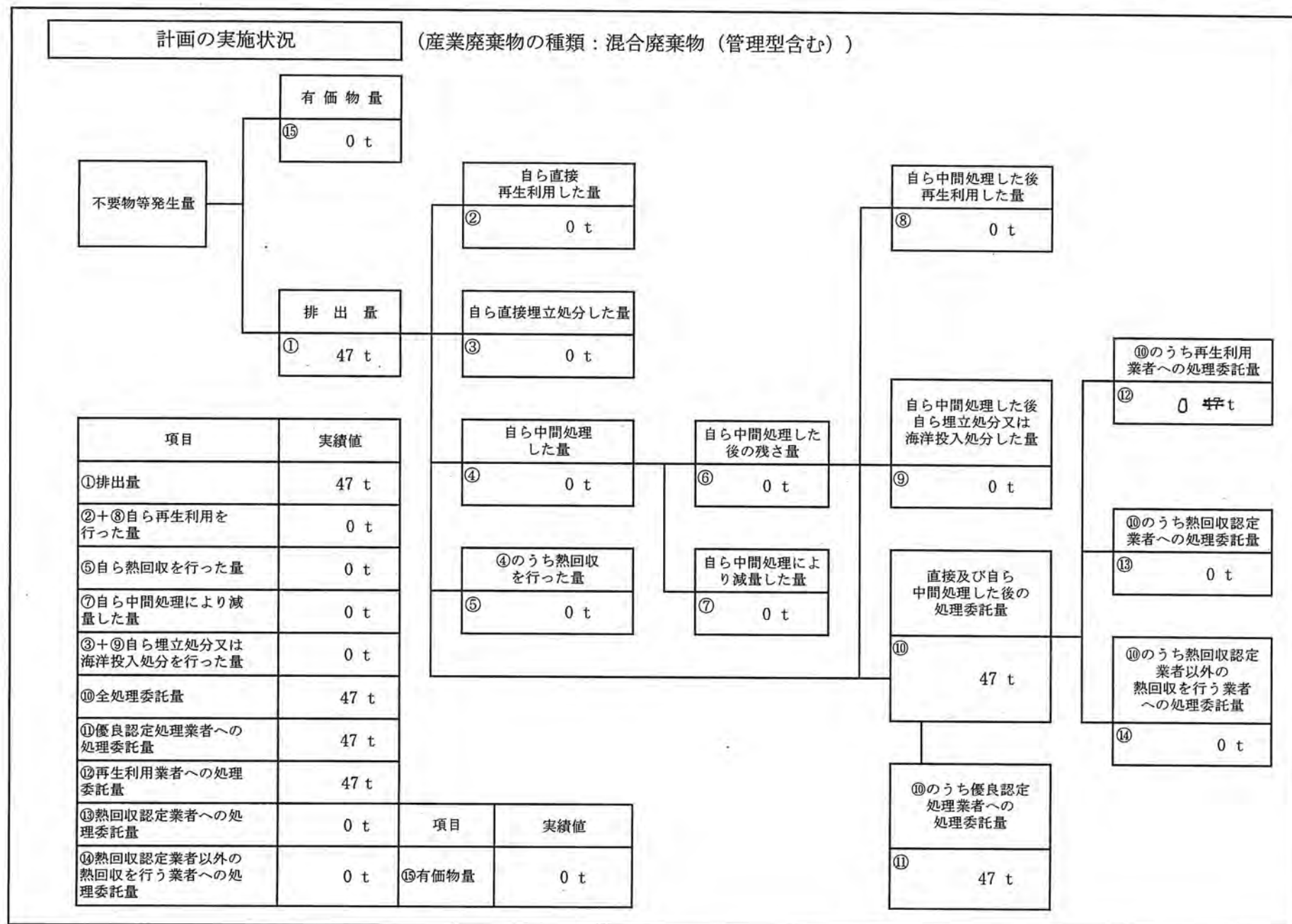
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	144 t	⑮有価物量	0 t
②+⑧自ら再生利用 を行った量	0 t		
⑤自ら熱回収を行った量	0 t		
⑦自ら中間処理により減 量した量	0 t		
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0 t		
⑩全処理委託量	144 t		
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	144 t		
⑫再生利用業者への処理 委託量	144 t		
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0 t		
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0 t		



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)





計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：混合廃棄物（安定型含む）)			
不要物等発生量	有価物量				
	⑮ 0 t				
排出量	① 10 t	自ら直接 再生利用した量			
		② 0 t			
項目	実績値	自ら直接埋立処分した量			
		③ 0 t			
①排出量	10 t	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量		
		④ 0 t	⑥ 0 t		
②+⑧自ら再生利用 を行った量	0 t	④のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理によ り減量した量		
		⑤ 0 t	⑦ 0 t		
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量			
⑦自ら中間処理により減 量した量	0 t	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量			
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0 t	⑩ 10 t			
⑩全処理委託量	10 t	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量			
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量			
⑫再生利用業者への処理 委託量	10 t	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量			
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0 t	⑪ 10 t			
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0 t	⑫ 0 t			
項目	実績値				
		⑮有価物量	0 t		

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：石綿含有（がれき類）)	
不要物等発生量	有価物量		
	⑮ 0 t		
排出量	① 11 t		
	② 0 t		
自ら直接埋立処分した量	③ 0 t		
	④ 0 t		
自ら中間処理した量	⑤ 0 t		
	⑥ 0 t		
自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 0 t		
	⑧ 0 t		
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0 t		
	⑩ 11 t		
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪ 0 t		
	⑫ 0 t		
⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑬ 0 t		
	⑭ 0 t		
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑯ 0 t		
	⑰ 0 t		
⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑱ 0 t		
	⑲ 0 t		

項目	実績値
①排出量	11 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	11 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

項目	実績値
⑮有価物量	0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 10 日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市東区馬出1丁目1番19号

氏 名 株式会社 松 本 組

代表取締役 松 本 優 三

電話番号 092-651-1031

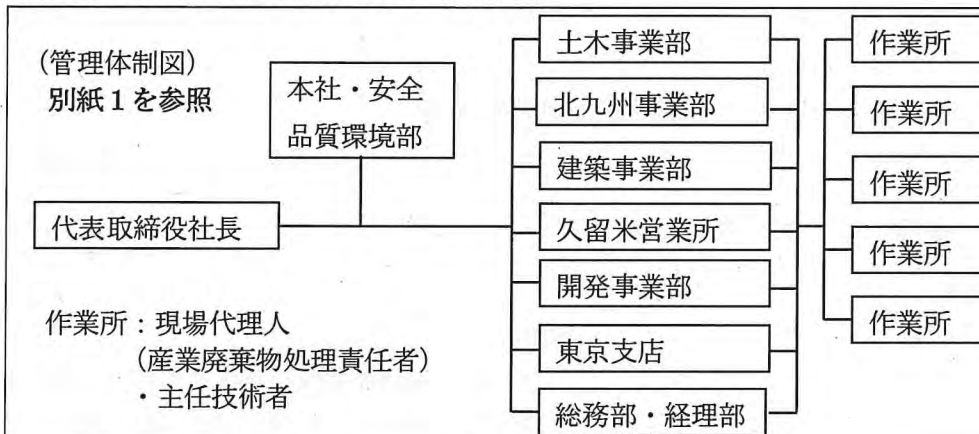
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松 本 組
事業場の所在地	福岡市東区馬出1丁目1番19号
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	7,708 百万円/全県
③従業員数	110人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	① 産業廃棄物発生 ↓ ② 自社又は運搬受託者にて搬出 ↓ ③ 処理受託者へ搬入 ↓ ④ 処理受託者に中間処理又は最終処分を委託 ※ 自社による直接再生利用、処分は行わない。



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排出量		
	(これまでに実施した取組) 工法の見直しを行い、廃棄物の発生量を削減している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 更なる工法の見直しを行い、余分な資材の搬入を防ぐなどし、廃棄物の発生量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 手選別により、再生可能な廃棄物を分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現場にて手選別を徹底し、再生利用できるものを分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用業者に委託し、最終処分量を削減した。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、出来る限り再生利用業者へ委託するとともに、 優良認定を受けた処理業者に優先して委託を行う。		
	※事務処理欄		

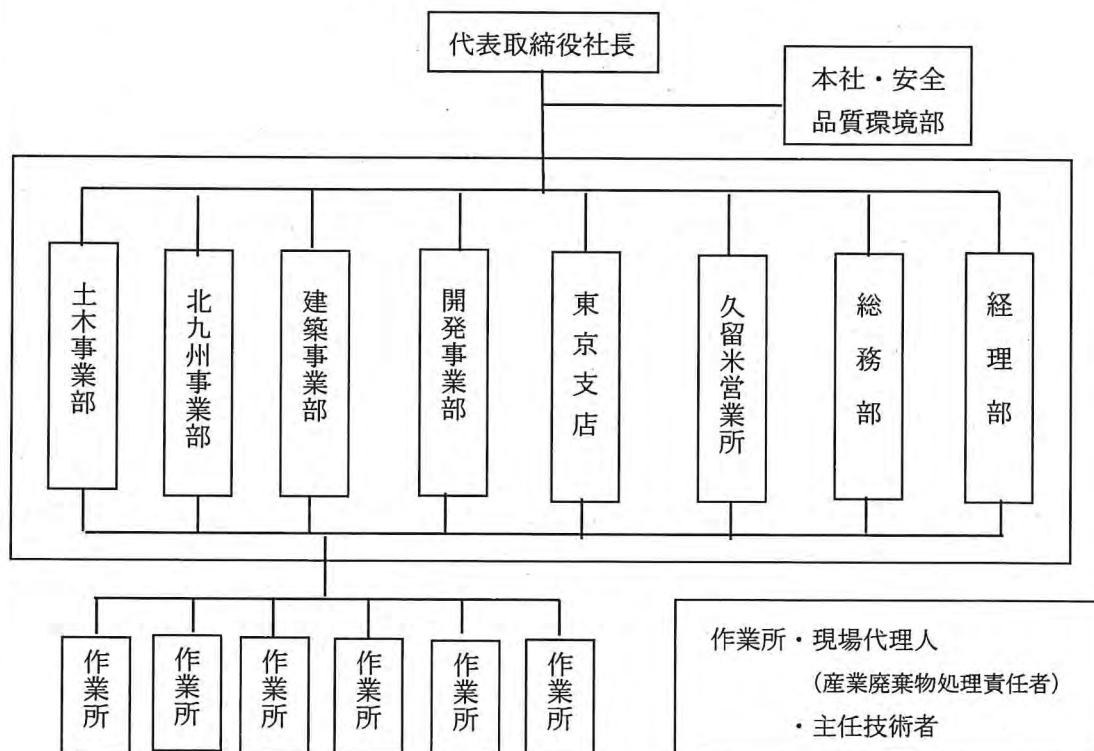
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制

統括責任者	所 属：本 社	職・氏名：代表取締役社長 松 本 優 三
廃 棄 物 担 当	組 織：安全品質環境部	組織人数： 2 人
マネジメン トレビュー	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－社長 ・委員－関連部署部課長、各作業所長 ・事務局－安全品質環境部	
廃棄物処理 統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
担当部長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調整、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ○その他関係する事項	

廃 棄 物 管 理 組 織



産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位:トン(t)

①現状【前年度(令和6年度)実績】 ②計画【目標】		産 業 廃 棄 物 の 種 類													排 出 量 合 計	
		汚 泥	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	紙 く ず	木 く ず	金 属 く ず	陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス く ず・ コ ン ク リ ー ト く ず 及 び	廃 石 膏 ボ ー ド	が れ き 類	コ ン ク リ ー ト が ら	ア ス フ ア ル ト が ら	混 合 廃 棄 物 （ 管 理 型 含 む ）	混 合 廃 棄 物 （ 安 定 型 の み ）		石 綿 含 有 （ が れ き 類 ）
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状 排出量		46	57	7	159	11	6	15	144	1,615	1,209	47	10	11		3,337
②計画 排出量		50	60	10	160	15	10	15	150	2,000	1,500	55	10	10		4,045
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
②計画 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
①現状	全処理委託量	46	57	7	159	11	6	15	144	1,615	1,209	47	10	11		3,337
	優良認定処理業者への処理委託量	15	57	7	64	11	6	2	144	1,157	46	47	10	0		1,566
	再生利用業者への処理委託量	46	57	7	159	11	6	15	144	1,615	1,209	0	0	0	3179	3,337
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
②計画	全処理委託量	50	60	10	160	15	10	15	150	2,000	1,500	55	10	10		4,045
	優良認定処理業者への処理委託量	20	50	10	80	10	5	10	150	1,000	500	50	5	5		1,895
	再生利用業者への処理委託量	50	60	10	160	15	10	15	150	2,000	1,500	0	0	5	3975	4,045
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0